

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会
(住所) 〒403-0005
山梨県富士吉田市上吉田 3-5-7
(TEL&FAX) 0555-22-3199

2019年2月第438号

ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/>



「これからの富士吉田教会」

教会委員長 山本 一孝

先月の教会委員会で、委員長をもう一期受けることになりました。わたしの至らなさで前期と同様に皆さまにとって、この2年間で「忍耐」と「寛容」そして「赦す」ことをさらに試されることになってしまいました。どうか皆さまのご協力を宜しくお願いいたします。

ひとりの信徒として、これからの富士吉田教会がどのようなっていくのか心配しております。わたしの心情としては、イエスの信頼により「主とともにどうにかなる」と楽観的なのですが、今の社会現象と同じく信徒の少子化、高齢化は着実に進んでおり、それに伴い子供たちの養成リーダー、典礼奉仕者、待者、経理、洗礼・堅信の養成等の教会運営と共同宣教司牧3部門担当者にも負担が増えています。

今、横浜教区では将来を見据え10年前から「共同宣教司牧」を推進しており、それは、これからの富士吉田教会にも関係しています。昨年、「わたしたちがめざしている共同宣教司牧とは」という冊子が横浜司教区から発刊されました。「共同宣教司牧」を分かりやすくまとめた冊子です。一部要約の内容ですが、『これまでの教会は主任司祭を中心に物事が進められ、信徒がそれを助けたり協力する「聖職者中心主義」でしたが、これからは信徒・修道者・司祭という枠を超えて、洗礼を受けた一人の「神の民」として各々の使命を共同（協働）していくよう招かれています。それぞれの国にいくつかの教区が存在し多くの小教区があり、わたしたちはどこかの共同体に属しながら、世界中に広がる一つの教会のメンバーで、「神の国」の実現のために働くことが求められています。そこで横浜教区のめざす教会の姿は「交わり」です。それは横浜の16地区や各小教区につながりです。一つの教区を超えて、ひとりの司祭ではなく複数の司祭が修道者、信徒とともに協働していくことが求められています』

これから山梨地区においても10年を振り返りビジョンの確認と見直しが行われます。それは小教区としての共同宣教司牧の協働の場でもあり富士吉田教会にも関係します。大げさかと思いますが、富士吉田教会の独自のビジョンも確認する必要があります。

富士吉田教会は大きい教会とは違って、日曜日ごとに教会に集う皆さんの顔がわかり、家庭的でとても温かいです。その雰囲気の中で信仰をはぐくみ、福音を伝えてきて「今」があります。その温かさがこの教会の素晴らしさであり大切にしてくべきところだと思います。

また、教会はイエスのもとで平安に休む場でもあります。「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」とイエスは告げています。そして、イエスが望まれた食卓である「ミサ」により、私たち信者は一致の秘跡とも言われる聖体の秘跡にあずかります。仕事、学業、社会活動、病気などにより、諸々の教会活動ができなくても、いっしょに祈ることも協働なのですから、ぜひミサにご参加ください。

「パンは一つだから、私たちは大勢でも一つの体です。皆が一つのパンを食べるからです」

(Iコリント 10:17)

「これからの富士吉田教会」を皆さんとともに分かち合っていきたいと思います。

長年、思い続けたカンボジアに行ってきました。

葉山 恵

私がカンボジアに興味を持ったのが1979年の事です。この平和な日本で考えられないポルポト政権下で、極端な共産主義に向かうクメールルージュの思想の下に地獄のような国に化してしまった事を新聞で読みました。

近隣のアジアの国で驚愕のニュースでした。その中で日本人でカンボジアの外交官と結婚した人がご主人も子供も失い、タイの国境近くのキャンプから地獄のような4年間を過ごし生還するまでの記事を毎日追っていました。

それから、20年後になって再びカンボジアに興味を持つことになります。

2001年東南アジア青年の船という日本の内閣府が主催する国際交流を知りました。日本とASEANの11か国から相互の友好と国際化の発展の為に各国の優秀な青年300人以上が乗船して日本から各寄港地へ出港します。訪問国での親善と理解の為にホームステイもすることを知って、私達は山梨でのホームステイを受けることにしました。

私達はカンボジアとタイの青年二人と2日間、一緒に過ごすことになりました。短い2日間ですが、安全に、家族の様に自然に楽しく過ごしました。私の拙い英語でできる限りのお喋りを楽しみました。

カンボジアの彼はとてもまじめでその時21歳でしたがプノンペン大学を卒業していました。優秀な青年ですが、真摯に努力を惜しまずに夢を持ち続けて、日本の幕末の偉人を思い出しました。愛国心を持ち、国の発展に教育が最も大切とその若さで話していたことを思い出します。それから17年間、時々メールで彼の状況を知らせてくれます。私達にとってこの出会いが奇跡の様です。

たった二日間の出会いがここまで続くことがあり得ない事です。その間、彼はフルブライト奨学金でアメリカの大学に留学を果たし、ベトナムドクターをシドニー大学で取得しました。その時々、結婚の時も家族のように知らせてくれます。仕事で日本に来ると必ず予定を立て東京で会います。そのたびにカンボジアを見せたい、家族に紹介したい、アンコールワットを案内したいと言ってくれます。

私達も、あまり年を取らないうちに、乾季になって丁度良い12月についてカンボジアに行くことにしました。今では、ラインの時代になり、リアルタイムの連絡が出来て世界が本当に近くなりました。彼の新しい家に滞在しての10日間の旅をすることに決まり、11月30日にプノンペンの空港に着きました。

ついに17年の時間が経ち息子の様な彼の国で再会を果たしました。最初にご両親の家に案内されて、家族に紹介されました。その後彼の新しい家にご両親も一緒に行って、奥さんや外国人の訪問に興奮している4歳と2歳の子供、そして中国人の友達まで来ていました。大歓迎の夕食でした。こうして10日間の私たちのホームステイが始まりました。日本では家の狭さもありますが、外国人の友達と言っても、たった2日間の出会いで、この歓迎はあり得ないことと思えました。

(次月に続く)

第52回世界平和の日教皇メッセージ

今年1月1日、フランシスコ教皇様は、「よい政治は平和に寄与する」をテーマにメッセージを出されました。

「人間の弱さを熟知し、それに対処できる平和な政治は、救い主の母、平和の元后であるマリアがすべての人間の名のもとに歌った賛歌（マニフィカト）の心にいつでも立ち返ることができます。

『そのあわれみは代々に限りなく、主をおそれる者に及びます。主はその腕で力を振るい、思い上がる者を打ち散らし、権力ある者をその座から引き降ろし、身分の低い者を高く上げ、・・・あわれみをお忘れになりません、わたしたちの先祖のおっしゃったとおり、アブラハムとその子孫に対してとこしえに』（ルカ1・50－55）」と発表されました。

現在世界に目を向けると、各国間に穏やかではない問題が数多くあるように思われます。今こそ世界平和のために沢山のお祈りが求められています。

教会委員会記録

1月6日 12名

1. 1月～2月の典礼（こよみ参照）

2. 新体制について

- ・富士吉田教会各役員改選（副委員長に外国籍の人を入れてはどうか？）
- ・山梨地区宣教司牧委員の3部門の責任者は4月改選

3. 主の降誕について（夜半のミサ参加者約130人、パーティー70人）

- ・ミサの中で、聖歌集が足りず、聖歌を歌う人が少なかったので、降誕祭ミサ用のパンフレットを使い、多くの方が歌えるようにしよう。
- ・ミサの参加者が多く帰ってしまった人もいたので、集会室にモニターを設置して、ミサに参加できるようにしてはどうか？
- ・聖堂の中をパイプ椅子だけにしてはどうか？リズムホールでミサをしたらどうか？
- ・パーティーは最後まで残ってくれる人が多く、盛り上がった。
- ・財務委員が不在で貴重品を預かれなかったので、貴重品保管の対応を検討する

4. その他

- ①カトリック新聞に掲載された「バザー収益金に法人税が課せられた」問題について
実行委員は、あくまでも信徒有志の催しであることの周知と確認をする。教区財務と随時相談しながら、運用に変更のあった場合は、教区より連絡をいただく。
- ②藤沢教会などに巡礼を計画しよう。
- ③今年度、大規模修繕工事。幼稚園のスケジュールに配慮して行う

こよみ



2月

- 1日 (金) 初金曜日ロザリオ10:00ミサ10:30
- 2日 (土) 主の奉献 (祝日)
- 3日 (日) 年間第4主日 ミサ9:30 教会委員会
(聖堂掃除は河口湖・都留地区)
- 5日 (火) 日本26聖人殉教者 (祝日)
- 10日 (日) 年間第5主日 子供と共に捧げるミサ9:30
(聖堂掃除は日曜学校・河口湖・吉田地区)
- 11日 (月) 横浜教区典礼研修会 藤沢教会10:00
- 13日 (水) 手芸会9:30
- 17日 (日) 年間第6主日 国際ミサ9:30 (コス神父様お休み) ミサ後お楽しみ会
(聖堂掃除はインターナショナル・山中・忍野地区)
- 22日 (金) 聖ペトロの使徒座 (祝日)
- 24日 (日) 年間第7主日 ミサ9:30
(聖堂掃除は吉田地区)

★ 2月の聖歌練習はお休みになりました。

 イタリア語教室 月曜10時 4日・18日・25日
 日曜学校 ミサ後 10日・17日・24日

3月

- 1日 (金) 初金曜日ロザリオ10:00ミサ10:30
- 3日 (日) 年間第8主日 ミサ9:30 教会委員会

★ 2月10日～3月3日まで昨年のお枝を回収します。
 聖堂の後ろに箱を置きますので期日内に入れて下さい。

2月のミサ奉仕

日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	歌伴奏
3	東海林義夫	山本一孝	一雄	福永好雄	宮本禮子	シスター
10	曾根美香	栗原今朝夫	天翔	江守香代子		シスター
17	江守香代子	東海林義夫	正人	英語	?	シスター
24	東海林美佐子	東海林義夫	一雄	渡辺幹夫	猪俣瞳子	シスター